

■各部会の取組状況について（令和6年度）

■ 高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会

＜部会等の検討テーマ／令和6年度中の到達目標＞

高次脳機能障がいのある方が地域で安心して暮らし続けられるよう、各支援機関のネットワークを構築することを目標とし、昨年度はその取組みの妥当性や今後の方向性について議論を行い、今年度は実際の取組状況を報告する。また、高次脳機能障がい児支援、普及啓発を推進するための取組みの妥当性や方向性についても議論を行う。

令和6年度の開催実績及び検討内容

【第1回 令和6年9月18日 開催】

＜議題＞

- ・地域支援ネットワークの再構築について
- ・高次脳機能障がいの普及啓発の方向性について
- ・高次脳機能障がい児支援の方向性について

○検討内容

- ・地域支援ネットワークの再構築のための研修を昨年度に実施した中河内圏域の活動報告や大阪府の後方支援の状況、今年度実施予定の北河内圏域及び三島圏域の調整状況について
- ・理解促進のための普及啓発の取組み状況や今後の方向性について
- ・高次脳機能障がい児支援の取組み状況や今後の方向性について

○主な委員の意見

- ・中河内地域別実践研修について、コロナ禍もありながらもよく継続されている。
- ・イオンモールの啓発活動はよかったという声を聞いている。
- ・子どもの高次脳機能障がいに関する調査は、実態がよく掴めていない現状があるのでしっかりやってほしい。

【第2回 令和7年3月27日 開催】

＜議題＞

- ・地域支援ネットワークの再構築について
- ・高次脳機能障がいの理解促進に向けた普及啓発について
- ・高次脳機能障がい児支援について

○検討内容

- ・今年度、地域支援ネットワークの再構築のための研修を実施した北河内圏域の活動報告や大阪府の後方支援の状況、及び上記研修を次年度大阪市圏域及び豊能圏域で実施予定であるため、その調整状況について
- ・理解促進のための普及啓発の取組み状況や今後の方向性について
- ・高次脳機能障がい児の実態調査結果及び結果を踏まえた支援ツールの活用について

○主な委員の意見

- ・地域別実践研修について、高次脳のことを理解している障がい福祉サービス事業所が増えてきた。
- ・子どもの高次脳機能障がいの実態調査について、子どもの高次脳機能障がいは結構いるという印象。

令和6年度の検討結果

- ・北河内圏域及び三島圏域において、関係機関を集めての実践研修の開催など、地域支援ネットワークの再構築に向けての取組が進んだ。
- ・高次脳機能障がいの理解促進のため、啓発動画の作成やイベントの開催などの普及啓発を行った。
- ・高次脳機能障がい児の支援ツールを配布し、理解促進に努めた。

次年度の検討項目（予定）

- ・地域支援ネットワークの再構築について
- ・高次脳機能障がいの理解促進に向けた普及啓発について
- ・高次脳機能障がい児支援について